桂小だより

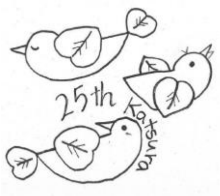
KATSURA NEWS LETTER

9月号

令和２年８月28日

横浜市立桂小学校

Web:　http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/katsura/
学校についての詳細や学校生活については HP をご覧ください。
E-mail: y3katura@edu.city.yokohama.jp　　桂小学校 HP の QR コードはこちら→



できることを探して

副校長　須藤　善秀

16 日間の夏休みを終え、登校が再開され２週間が経ちました。感染症拡大防止のため様々なことが制限される中、昨年までのような過ごし方はできないこともあったと思います。しかし、今だからできる新しい経験をした人もいるのではないかと思います。

今年度は、４月に１年生は２日間、２～６年生は１日だけの登校に始まり、その後、２か月間の臨時休業となってしまいました。６月からも分散登校、午前授業、夏休みの短縮等、今までのような学校生活を送ることができないことが多くありました。

PTA やおやじの会の方々も、例年通りの活動を行うことができず、どうしたらいいだろうかと考えられていました。制限の多い中、できることをしていこうと工夫された活動を一部紹介させていただきます。

PTA では、緊急事態宣言中は、運営委員会を集まって開催することができないことから、Zoom で行いました。また、ベルマークの回収率を上げ、子どもたちの活動に生かせるようにしたいという想いから、回収棚を新調したり、マチコミで回収日の配信をしたりしました。そのおかげで、少しずつベルマークやテトラパック等の回収の量が増えてきています。

おやじの会では、総会を開催することができない中ではありましたが、何かできることはないかと考えてくださり、校舎屋上のルーフガーデンの草刈りを行ってくださいました。暑くなり始めた時期ではありましたが、１０名以上のおやじの会の方々が集まってくださいました。草刈りの最中に、カモの卵のからも見つかりました。こんな状況の中でも、自然の生き物たちは、力強く巣立っていくものだと感じました。

草刈り後のルーフガーデン

カモの卵

ベルマーク回収棚

今は、感染症拡大防止のため、中止や活動の縮小を考えなければならない場面が多くあり、気持ちが沈みがちになりますが、そんな中だからこそ、対策を取りながら『何ができるか』『どうしたらできるか』と前向きな考えをもって過ごすことで、今までにない新しい経験ができるのではないだろうかと思います。

まだまだ、気の抜けない日々が続きますが、感染防止の対策を取りつつ、子どもにとっても保護者の皆様にとっても、今だからこそできる新しい経験ができることを願っています。